

第1回「全中理現職セミナー」のまとめ

令和3年度全中理期首役員会の開催にあたり、令和3年2月25日にオンラインで行われた全中理現職セミナーの大まかな内容及び反省事項をまとめた資料です。

記

1 概要

研修会名：第1回「全中理現職セミナー」

主催：全国中学校理科教育研究会

講師：お茶の水女子大学附属中学校 教諭 前川 哲也 先生

筑波大学附属中学校 教諭 和田 亜矢子 先生

千葉市立緑が丘中学校 教諭 高橋 博代 先生

東京学芸大学附属世田谷中学校 教諭 高田 太樹 先生

4名は文部科学省「評価規準，評価方法等の工夫改善に関する調査研究」協力者

会場：ナリカ東京本社2階実験室

日時：令和2年2月25日（木） 15:00～16:30

次第：

- ・はじめに（15分）－ 挨拶、資料紹介、接続テスト
- ・基調報告（20分）
- ・ブレイクアウトセッション（20分）
- ・発表・質疑応答（30分）
- ・終わりに（5分）－ 謝辞、事務連絡

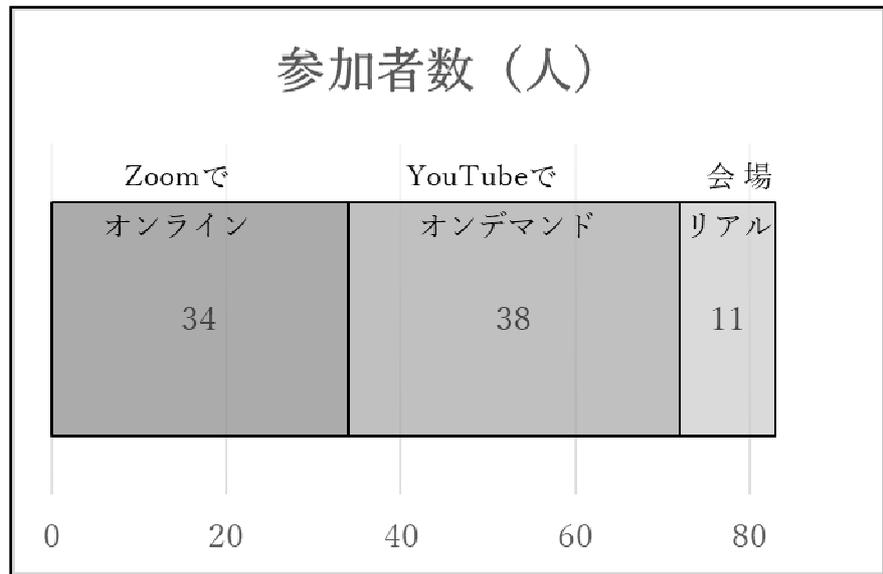
使用アプリ：Zoom

その他：（留意事項）

- ・参加の申し込みは上記QRコードでリンクされるサイトで行って下さい。各都道府県2接続まででお願いします。
- ・この書面は各都道府県の会長と事務局長にご案内をさせていただいております。今後、参加者をお選びいただき、参加登録をしてくださるようご連絡をお願いします。
- ・IDやPASSは参加登録のあったアドレスを通して連絡します。
- ・全中理事務局とZoomとの契約上100接続まで可能です。接続数には若干の余裕があるので、3接続以上を希望なされる場合は、前もってお知らせ下さい。

2 参加者（実数）

方法	人数
Zoomで (オンライン)	34
YouTubeで (オンデマンド)	38
会場で (講師及び関係者)	11
合計	83



3 事前

※ 「講師の先生に聞いてみたいことがあれば、ご記入ください」と自由記述を求めた。

- 主体的に学習に取り組む態度についての評価の具体
- 主体的に学ぶ態度の具体的な実践例
- 主体的に学習に取り組む態度の評価の「自己調整しようとしている姿」がどこからどこまでを指すのかが、難しいです。特に他教科の先生方と参考資料を比較した際、「理科で紹介されている例は、他観点と切り離せないものだが、それでも他観点到に寄り気味ではないか」という指摘を受けました。
- 具体的な評価例を見せていただきたいです。
- 現行の指導と評価の在り方との違いについて、自信を持って答えることができません。そのため、今までの指導と評価の在り方と変わらない部分と変わる部分がどのようなことかをお聞きしたい。また、評価のための指導というわけではないことは承知していますが、指導する上で大事にしなければならぬ事柄や考え方について教えていただければ幸いです。
- 主体的に学習に取り組む態度の、ABCのちがいは、十分・おおむね・指導を要するになっていますが、基準を設定の仕方を具体的にご教示いただきたいです。よろしくお願ひします。
- これまでも問題であったと思うが、学校の評価を入試に活用することへの是非を専門家に聞きたい。公平性や妥当性、過度にテストのみを重んじる風潮などについて
- 主体的に学習に取り組む態度の評価について
- 効果的な評価の仕方
- 主体的に学習に取り組む態度の評価で、粘り強く学習に取り組んでいるかどうかを、どのようにして判断すればよいのか。40人の様子を見とるのは、現実的にはできませんが、ワークシートなどに書かせたものの評価でよいのか。保護者に説明できるような評価をするためにどのようなことをすればよいでしょうか。教えてください。
- 単元における評価規準や、指導と評価の計画を作成していった流れを教えてください。
- 学びに向かう人間性等の評価方法、またギガスクールを活用した理科授業の展開
- 観点1の評価方法について
- 指導と評価の一体化とは？各観点の評価視点は？特に主体的に学習に取り組む態度の評価方法は？単元計画の作成のコツは？3観点から評定を出す際のおすすめは？
- 具体的な評価方法
- 指導と評価の一体化とは？各観点の評価視点は？特に主体的に学習に取り組む態度の評価方法は？単元計画の作成のコツは？3観点から評定を出す際のおすすめは？
- 評価について、以前の「評価の在り方について（報告）」には「AACなどの評価のばらつきがある場合」について記載されていたが、「参考資料」には記載がない。総括的にAACなどのような評価になってもよいのか。

- 主体的に学習に取り組む態度における評価の工夫について
- 以前、会場での参加を選択してしまいました。変更願います。
- 学びに向かう人間性の評価の例、注意点等をご紹介いただけるとありがたいです。
- 主体的に学習に取り組む態度の評価についての実践、Aの評価になるための視点について
- 主体的な態度の評価の実際

4 事後

※ GoogleForm を利用して、参加者に事後アンケートを依頼した。回答率は 28%。

方法	とても、よかった	少し、よかった	あまり、よくなかった	全然、よくなかった	合計
Zoom で (オンライン)	14	5	0	0	19
YouTube で (オンデマンド)	0	8	0	0	8
会場で (講師及び関係者)	2		0	0	9
合計	16	13	0	0	29

Zoom

- 全国の先生方と同じ研修を受けられることが、とても有意義に感じた。参加者に限りがあったため、大学附属の先生方が多いイメージだった。一般の公立学校の教員も参加できるようにするためには、やはりリアルで集まる、または、各都道府県の理科教育研究会で研修会を企画運営する他、方法はないのでしょうか。
- 本校でも評価について考えているところであったため、今回の研修で全国的な動向を知ることとても参考になった。
- 同じ教科で悩みや気になることを共有できた。
- 本年度は研修の機会が限られており、貴重だった。
- 評価と指導を一体化することを目的とすることを今回教えていただきましたし、また現場で具体的にどのように評価するかを教えていただけたことが良かったです。
- 熱意をもって取り組んでいることが伝わってきた。今年は特に、他校の先生方の取組等について議論する機会がなかったので、とても刺激になった。
- 新しい評価についての詳細や方向性を学ぶことができた。
- 解説の時間がコンパクトで、わかりやすく視聴することができた
- 評価に関して抱いていた疑問が少し解決できました。
- 指導と評価の一体化の資料をつくってくださった先生方の貴重なお話を聞けたし、来年度の評価にむけて良いきっかけになったからです。
- 指導と評価の一体化について考えるよい機会となりました
- 校務中の途中退席もありましたが、コンパクトに参加できました。
- 基本的には満足です。音声トラブルが少し残念でした
- 来年度からの学習評価についての知見が広がった。
- ブレイクアウトセッションの時間が短かった。講師の前川先生がファシリテーターというより、いわゆる「教える側の先生」になってお話をくださったので勉強になった反面、10人ほどの参加者うち4人程度しか発言できませんでした。あの時間設定であれば、問題意識を集約して、合流してからの時間で講師陣が回答する形でもよかったと思います。

- ・ 他の学校の現状や共通の疑問等を確認できてよかった。
- ・ 他地域の現状を知ることができた。

YouTube

- ・ 主体的に学習に取り組む態度の評価について実践例を含めお話しただけた
- ・ YouTube 版だったため、もう少し具体的な実践について知りたかったので
- ・ 「主体的に学習に向かう態度」の評価については、指導に生かすための評価であることに重きを置かれているように感じ、教職員の意識改革が求められていることを改めて再確認できたから。
- ・ 課題が明確になったが、それぞれ先生方が悩まれているようで難しい場面もあった。
- ・ オンデマンドはとてありがたい。時間にしばられないので、引き続きお願いしたい。
- ・ どの現場においても主体的な態度についての評価で悩むポイントは同じだということが理解できたから。
- ・ 実際に、3観点での評価・評定に取り組む参考になった。
- ・ 評価の考え方や4月から変わる点はわかりました。具体的な評価（特に総括的な評価の操作部分）は、正解があるのではなくこれから自分が見いだしていかなければいけないのかな、と感じた点で答えが得られたわけではなかった部分もあります。

会場

- ・ 和田先生、前川先生、高田先生のお考えを改めて聞いて、勉強になりました。また、質問に答えることで、自分の中でさらに整理された考えもあり、セッションしてくれた先生方に感謝しています。終わった後の振り返りの会議で、指導と評価の一体化の有識者会議の経緯や、ポストコロナの著書の話など、初めて聞く話題もあり、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

感想

- ・ 他の観点について、例えば知識・技能の技能につ

いて、同じ観察実験は2回しないが、技能の形成的評価と総括的評価の場面など具体例を挙げて説明を聞きたい

- ・ 動画編集等ありがとうございました。今後もこのような会がオンラインでできるといいと思います。
- ・ 資質・能力について3つの柱にまとめられているが、「知識・技能」「思考・判断・表現」の2つの観点は、「主体的に学習に取り組む態度」が下支えとなって育まれていくものとも言える。そうすると、例えば、AABやAAC、BBAやCCAと言った評価が出現したときに、正しい指導と評価ができていると言えるのか疑問に思う。そこをどうしていくのか考えていくことがとても難しいことであると思われるので詳しい話を聞きたい。
- ・ 多くの質問が「主体的に取り組む態度」であった。“具体的事例”をたくさん集めて全国の先生方と共有できるフォームを作成してほしい。それぞれの実践事例を集めたらよいと考えます。また研修も引き続き実施してほしい。
- ・ 単元を通しての評価材料と評価基準が例示されればイメージしやすくなると思います。
- ・ 総括的な評価を行った1学期終了後に、実際にどのような評価が行われたのか情報交換の機会があると良いと思います。
- ・ 全国の先生方の実践を聞ける機会が、年に一度の全中理以外に設けられると良い。素晴らしい実践がたくさんありそうなので、とても有意義になると思った。
- ・ Zoomだと参加しやすいので、今後もこのような機会があれば有り難いと思います。
- ・ グループでの話し合いなどがもっとあれば色々と聞きやすいかなとおもいました。
- ・ 評価と指導の具体例をもっと知りたいので、具体例をもとにしたセミナーを開催していただけたらとありがたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 具体的な実践例をさらに紹介してほしい
- ・ 今後も定期的な zoom 研修会をお願いします
- ・ 今後も、このようなセミナーを期待しております。
- ・ この研修に参加させて頂き、心より感謝しています。他県の先生方との交流の機会は貴重なので、

有難かったです。みんな悩みは同じなんだと知ることができただけでも、収穫でした。こんな研修が再度行われたら嬉しい限りです。できれば、zoomで

- 先駆的な取り組みをありがとうございました。ZoomとYouTubeの両立させた形の運営は勉強にな

りました。全中理・都中理の先生方、本当にありがとうございました。

- セッション時間が足りないくらいでしたので、評価をしてみたの不具合や困った点、工夫している点などを話し合いたいです。また、こういうのに参加したいです。

全中理・現職セミナー Zoomミーティング

参加票

<https://us02web.zoom.us/j/83951369604?pwd=T25WbEJCSFZua291M0VWTVWhiREhqdz09>
ミーティングID: 839 5136 9604
パスコード: 840

参加するにあたって

- 「名前」は「〇〇県△△中◇◇」のように「都道府県 学校名 氏名」に変更をしておいてください。
- 2:30頃から接続を開始します。
- 接続直後は「待合室」に入ります。しばらくお待ちください。その後「会議室」に参加できます。
- 「待合室」で氏名等を確認させていただきます。
- 確認でき次第、「会議室」に入ります。研修会は「会議室」で行います。
※「名前の変更」は待合室の中やミーティングの途中でもできます。画面下の「参加者」から自分の名前を選択して変更してください。
※「招待リンク」= <https://zoom.us/j/...> で始まるurlです。Zoomの待合室につながります。
※「ミーティングID」=11桁の数字です。
※当日の接続について **080-4820-7356** にお問い合わせください。

令和3年2月25日(木) 15:00-16:30

全国中学校理科教育研究会・現職セミナー「指導と評価の一体化」オンライン研修会

【講師】

お茶の水女子大学附属中学校	教諭	前川 哲也 先生
筑波大学附属中学校	教諭	和田 亜矢子 先生
千葉市立緑が丘中学校	教諭	高橋 博代 先生
東京学芸大学附属世田谷中学校	教諭	高田 太樹 先生

4名とも文部科学省「評価標準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究」協力者

【次第】

司会：全中理事務局次長：石代 俊則

- はじめに (10分)
- ①挨拶 - 全中理会長・山口 晃弘
- ②講師・資料紹介 - 全中理副会長・鷹田 敏
- 2 基調報告 (30分)
- 3 ブレークアウトセッション (20分)
- 4 発表・質疑応答 (20分)
- 5 終わりに (10分)
- ①謝辞 - 全中理事務局長・大熊 一正
- ②事務連絡

【動画】 YouTube

- 1 基調報告

お茶の水女子大学附属中学校	教諭	前川 哲也 先生	7:31
https://youtu.be/XtggpuKi7A			
筑波大学附属中学校	教諭	和田 亜矢子 先生	6:07
https://youtu.be/WRUikcqw37Q			
千葉市立緑が丘中学校	教諭	高橋 博代 先生	4:32
https://youtu.be/Z6CxaFVS6Yg			
東京学芸大学附属世田谷中学校	教諭	高田 太樹 先生	9:26
https://youtu.be/MOT3Q5Vv7KI			
- 2 ブレークアウトセッション・質疑応答

https://youtu.be/p0nx59UM27Y	40:56
---	-------

【資料】

国立教育政策研究所
中学校理科
「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html>

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料



【振り返り】 GoogleForms

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfZfwilreok5IzNs-UGf4L6PXGn-cZiZEVBaIUnRrLZhngWrg/viewform?vc=0&c=0&w=1&f1r=0&gxids=7628>



好ましくない評価の事例

- ①授業中寝ている（私語が多い）と減点する
- ②忘れ物をしたり、提出物の期限を守れなかった生徒を減点する。
- ③内容とは無関係に、単に手を挙げた（発言した）回数で加点する。
- ④話し合い活動で、司会者や発表者になるとする。
- ⑤記述文字数やレポートの枚数が多いレポートを加点する。

時	学習活動
1	天球を使って天体の位置を表す。
2	太陽の日周運動の観察を行う。
3	観測記録から、太陽の一日の動き方の特徴を見いだす。
4	星の一日の動きを透明半球にまとめる。
5	相対的に星の動きと地球の自転とを関連付けて考え、地球の自転の向きを推論する。
6	星座の年周運動のモデル実験から、星座見え方が変わることを見いだす。
7	・シミュレーションで、天球上の星座や太陽の1年間の動き方を理解する。
8	季節ごとの地球への太陽の光の当たり方が変化することをモデル実験で調べる
9	昼夜の長さの変化を、地球儀を用いたモデル実験を通して探究する。
ペーパーテスト（定期考査等）	
単元の総括	

			ことを説明した。
B			代表的な星座の見える時期や時刻、方位にた。
	B		季節ごとに太陽の光の当たり方が変化する実験の結果から説明した。
		A	身に付けた知識及び技能を活用して探究し、もった。
A	B		
A	B	A	

- ・「知識・技能」は、第3時で「技能」を、第7時とペーパーテストで「知識」を評価した。その結果、「ABA」となることから、総括して「A」とした。
- ・「思考・判断・表現」は、第4時と第8時とペーパーテストで評価し「BBB」となることから、総括して「B」とした。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、「AA」となることから、総括して「A」とした。

